

令和7年 12月25日

臨時号

2025^⑫



さくほ

議会だより

第4回 町民との意見交換会

議会HP



11月24日(月)に茂来館を会場に行われた
第4回町民との意見交換会の様子をお届けします



開会前には佐久穂中学校吹奏楽部の皆様によるウェルカムコンサートが行われました

第4分科会は
佐久穂中学校生徒会役員を中心に行われました



当日は約 100 名の皆様にご参加いただいたことに厚く御礼申し上げます。

今回は「未来への改革」をメインテーマに、4つの分科会を用意し活発な意見交換をして頂きました。議会として、当日いただきました多様なまた貴重なご意見を、町政運営に反映することにより、住みよい、また住みたいまちづくりに向けた活動を進めてまいります。

各分科会とも議論が白熱し時間が足りないというご意見を多くの方からいただきました。次回開催時にはご期待に沿えるよう努めますので、相変わらずのご指導とご鞭撻を頂きますようお願いいたします。

実行委員長 高見澤 敏幸

第4回町民との意見交換会において、大勢の皆さんにご参加とご協力を賜り感謝申し上げます。

この会を通じ、私たち議会が町民の皆様の代弁者として、また、地域発展に寄与するための礎が少しずつ進んできていると改めて感じているところであります。

町民の皆様には、町議会の今後の活動にご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

議長 須田芳明



第1分科会



第2分科会



第3分科会



第1分科会 佐久穂町の未来を創る

～魅力発信とチャレンジの機会づくり～



佐久穂町は、八千穂高原や白樺群生林の豊かな自然、清らかな水、人の温かさ、教育や福祉の充実など、多くの魅力にあふれています。

今回の意見交換会では、町民の皆さんから

- 「SNSでの魅力発信」
- 「若者主体の情報発信」
- 「白樺林やキャラクターのPR」
- 「移住セミナーでの企業紹介」
- 「ユニークな交流イベントによる人とのつながり」

など、未来に向けた前向きなアイデアが寄せられました。いただいた「意見をもとに、誰もがワクワクできる町づくりを進めてまいります。」

第2分科会

議会(議員)の未来に期待すること



分科会には、他町現職議員、町OB議員、他市民、町民の方々に参加して頂きました。

率直な意見を伺い、未来にふさわしい若い世代や女性の参画しやすい開かれた議会にするために、三つのテーマで意見交換をしました。

テーマは今の議会(員)の印象、未来の議会(員)像、町民と議会(員)の関わり方・情報発信について次のような意見が出ました。

「同じ一般質問が多い」「活動がわからない」「フットワークを軽く」「議員の専門性」など率直な「意見をいただき、議会(員)は資質の向上を図り、こまめに住民と対話し、SNS等を活用して情報公開をする重要性を今後の活動に活かして参ります。」

第3分科会

川からはじまる、まちのわくわく計画



参加者10名(内子供2名)が2グループに分かれて、かわまちづくりでどんなことが出来るのかアイデアを出し合いました。

【大石川フィールド】子供たちが川に親しみ遊んだり、魚の観察ができる場所が欲しい。佐久穂にいる魚の水族館。道の駅を起点とするウォーキング、サイクリングコースを整備して道の駅から全エリアへの回遊コースを造る。

【天神橋エリア】町民が安全に散歩できる歩道を整備して、駅前ロータリーを緑豊かな休憩エリアに。

【愛宕公園】立ち木などを整理して遊具の他に、大人も子供も楽しめるバーベキュー施設など作る。

【全体を通して】鮎が住めるような川、蜚が飛び交うような水辺が戻ってくるように川の環境保全に取り組みたい。

第4分科会

大人になったら、
佐久穂町でなにをしたい？



中学生中心に24人が参加して、「町への愛着心・貢献意識・住みたい町・将来の夢や進路について意見交換をしました。」

「自然豊かで水も空気も美しくひとの心も豊か。地産の食べ物が多くておいしい。」と、「町の良いところ」を上げてもらって、「交通が不便・歩道が狭い、空き家問題、商業施設・飲食店が少ない、情報や意見交換の希薄さ」等の「良くないところ」も上げてもらいました。

「もし町長になったら佐久穂町をどんな町にしたいですか」のテーマでは、「映画館や大きな店をつくる」から「自然が残された、高齢者を中心に手厚い支援がある町」というような鋭い意見がたくさん出され、中学生も住民として町の将来を考えていると感じました。